

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2018年12月6日

事業所名：療養通所介護さくらんぼ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指導訓練室はないが、援助に必要なスペースは確保できている。	1. はい 7 2. どちらともいえない 2 3. いいえ 0 4. わからない 0	現状では援助に必要なスペースは確保できているが、今後小児の成長に伴いできることが増えることも考えられる。それらに対応できるように、今後もスペースの使い方を検討していく。
	2 職員の適切な配置	指定基準を満たしており、必要な時間については加配している。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0	引き続き援助に必要な人員配置を行っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	行っている。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0	現状では問題ないと考えますが、小児の状況に合わせて適宜検討を行っていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	消毒液でのベッド周囲の清掃は毎日行っている。整理整頓を心がけてはいるが、常にできているとは言いがたい。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0	清潔で衛生的な環境を提供できるよう引き続き配慮していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	終礼時と定期的に開催するカンファレンスにて意見交換を行っている。		引き続き活発な意見交換を行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価を実施していない。		今後第三者による外部評価の導入を検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	宝寿苑内、さくらんぼ内で勉強会を行っている。また、苑外での研修にも参加できるよう勤務調整を行っている。		引き続き研修会への積極的な参加による資質向上を図る。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	モニタリングの内容を基にアセスメントし、計画の修正を行っている。		引き続き丁寧なモニタリングを行い、小児とその家族のニーズを職員間で共有し、それらを反映した計画を作成する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	小児の疾患・発達段階に応じた支援計画を作成している。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0	引き続き小児の病状・発達段階に応じた支援計画を作成していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	行っている。		引き続き適切な支援のために、的確な項目の設定と具体的な支援内容の記載を行っていく。

適切な支援の提供（続き）

4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画をもとに援助を行っている。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0	引き続きご家族の同意を得られた計画を基に支援を行っていく。
5	チーム全体での活動プログラムの立案	主に児童発達支援管理責任者と保育士で計画を立案し、複数の職員で評価を行っている。		引き続き成長・発達の過程にある小児であるということを視野にいれ、各専門職で検討・立案していく。
6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	学校が休日の時には午前中より受け入れを行っている。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0 「季節に合った保育や行事ができていてよい」	引き続き平日・休日に応じた支援を行い、小児のご家族の生活を支援していく。
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節に応じた作品を作成し、歌を歌っている。また、休日で利用時間が長い日には、平日には難しい体を使った遊びなど、療育の内容を工夫している。		引き続き、季節や利用時間に応じた支援に取り組み、活動プログラムが固定化しないよう工夫していく。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援内容・役割分担は明記している。		必要な支援が確実に行われるよう、引き続き役割分担を明記し、確認を徹底していく。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	終礼時に振り返りを行い、その内容を記録に残すことで、終礼に参加できない職員にも周知するようにしている。		引き続き丁寧に振り返りを行い、その情報の共有に努める。
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	安全に関することなど急ぐことについてはその日のうちに、それ以外は半年に1回複数の職員で支援内容の検証を行っている。		引き続き安全で適切な援助の提供に努める。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回モニタリングを行っており、その結果を基に計画の見直しを行っている。		引き続き定期的にモニタリングを行い、小児・ご家族の思いを反映させた計画の見直しに努める。

関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	積極的に参加するようになっている。		引き続きできるだけ担当者会議に参加し、他の事業所との連携を図る。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	加古川養護学校と情報共有を行っている。		小児の疾患の特性をふまえた援助をチームで提供できるよう、引き続き連携をとっていく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	緊急時は主治医と連絡をとれるようになっている。		小児の健康状態が安定してすごせるよう、全ての小児の連絡体制を維持する。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	加古川養護学校入学前の小児の情報を提供したことがある。		引き続き円滑な移行支援のために情報共有を行っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	担当者会議での情報提供を行っている。		引き続き積極的に情報提供を行っていく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	加古川養護学校と加古川療育センターの研修に参加している。		専門機関での研修には今後もできるだけ参加し、専門性の向上に努める。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	行っていない。	1. はい 1 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 4 4. わからない 4 「必要ない」 「その代わり高齢者との交流がある」	現状では難しいと思われるが、地域の小学生が宝寿苑に来苑される機会などで検討していく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	夏祭りなど宝寿苑の行事では地域住民を招待している。		地域住民を招待する機会は少ないが、地域に開かれた事業の運営を心がけていく。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始時に行っている。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0	引き続き丁寧な説明を行っていく。

保護者への説明責・連携支援

2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画更新時に行っている。	1. はい 8 2. どちらともいえない 1 3. いいえ 0 4. わからない 0	「どちらともいえない」という評価があった為、十分ではない可能性が考えられる。より一層丁寧な説明を心がけていく。
3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	改めてペアレントトレーニングの機会は設けてはいないが、必要なときには保護者と一緒に考えている。	1. はい 5 2. どちらともいえない 2 3. いいえ 0 4. わからない 2	今後も保護者とコミュニケーションをとりながら共に考えていく。その中で必要性があればペアレントトレーニングの機会をもつことを検討する。
4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	主に送迎時のコミュニケーションを通して共通理解できるよう努めている。	1. はい 8 2. どちらともいえない 1 3. いいえ 0 4. わからない 0	引き続き保護者や関連事業所からの情報を通して共通理解を図る。
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時に相談をうけることがある。	1. はい 7 2. どちらともいえない 2 3. いいえ 0 4. わからない 0	よき相談相手になれるよう保護者とのコミュニケーションを大切に、知識の取得に努める。
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していない。	1. はい 0 2. どちらともいえない 2 3. いいえ 3 4. わからない 4	今後必要性があれば検討していく。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応体制については契約時に説明している。苦情があった場合にはできるだけ迅速に対応するよう心がけている。	1. はい 8 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 1	「わからない」の評価があるため周知が十分でないことが考えられる。より一層の周知と苦情時の迅速な対応に努める。
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	保護者や各関係機関から情報を得、できるだけ小児と意思疎通ができるよう努めている。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0	引き続き小児とその家族と積極的にコミュニケーションをとり、意思疎通を図る。
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月会報を発行し活動概要を発進している。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0	引き続き発信を行っていく。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いに関する同意書を取り、写真などの取り扱いについては事前に了承を得るようにしている。	1. はい 9 2. どちらともいえない 0 3. いいえ 0 4. わからない 0	引き続き法令遵守に努める。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアルは策定し保護者にもわかりやすいよう明記している。 感染症対応マニュアルは策定しているが保護者には伝わっていない。 防犯マニュアルはない。	1. はい 7 2. どちらともいえない 2 3. いいえ 0 4. わからない 0	防犯マニュアルを今後作成していく。現在作成してあるマニュアルについては定期的な見直しを行う。

非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1年に1回行っている。	1. はい 5 2. どちらともいえない 2 3. いいえ 0 4. わからない 2	引き続き訓練を行い災害に備える。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	宝寿苑内での研修に参加している。		今後も定期的に研修に参加し知識の向上と対応力の向上に努める。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	開始時には職員で検討し保護者に説明のうえ同意を得ている。計画への記載はない。		今後は計画への記載も検討していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書はなく、保護者からの情報に基づき対応している。		現状で問題になったことはないが、アレルギーの程度によっては医師の指示を確認することも検討していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット発生時はできるだけ早期に検討を行い報告書をまとめ、その報告書をファイリングしている。		引き続き安全なサービス提供にむけて取り組んでいく。